



朝霞市のみちづくり

道路整備基本計画



朝霞市

第1版 令和元年5月

はじめに

道路は、都市の骨格軸であり、人々の生活と密着した大きな公共空間です。この公共空間を豊かにすることは、快適で持続可能な都市環境の形成、経済活動の活性化につながります。

市民のよりよい生活環境を支える道路をつくるためには、快適な交通機能（円滑な通行・アクセス・滞留）と空間機能（市街地形成、防災、景観、緑、賑わい）のバランスのよい発現が求められます。自動車交通の処理能力に着目した従来の考え方に加え、地域の状況、多様な道路利用者のニーズを踏まえ、社会経済面、環境面の意義を重視し、人間本位の歩行者・自転車・公共交通を実現していくことが大切です。

全国的には、人口減少や少子高齢化による交通サービスに対するニーズの変化、厳しい財政制約、都市の魅力向上の必要性など、道路空間を取り巻く状況が変化しています。

こうした中で、自動車と、歩行者・自転車・公共交通の関係を再構成することにより、道路空間に新たな役割を与え、都市や地域を再生させる取り組みが各地で始まっています。制度面でも、道路空間を有効に利活用するための各種の制度が整えられてきています。

本基本計画は、このような考え方を背景に、従前の道路整備基本計画 平成3（1991）年を見直し、道路空間に期待される多様な機能のバランス良い発現を促す道路のネットワークを整理し直すとともに、厳しい財政状況の中で、どのように優先順位をつけて整備をしていくべきか、客観的評価を参考に、考え方を整理したものです。

この道路整備基本計画は、計画期間にかかわらず、今後、様々なインフラ整備の状況や市民のニーズ、社会経済状況の変化に対応して進化していく、生きた計画です。

今後、市民の皆様と各方面の関係者との御協力を得ながら、地域の人々が誇りと愛着を持つことができるまちづくりを目指し、計画と実践の場で、より磨きをかけながら活用してまいります。

令和元（2019）年5月

朝霞市長 富岡 勝則

目 次

第1章 背景と目的

1 背景	1
2 目的	2
3 計画期間	3
4 計画の位置づけ	3

第2章 道路の状況

1 市内道路の整備状況	4
2 都市計画道路の整備状況	6
3 国道及び県道の状況	7
4 地域別の状況	9

第3章 道路整備を取り巻く環境の変化

1 財政状況の変化	15
2 都市基盤整備の状況変化	15
3 道路空間への多様なニーズの高まり	18

第4章 計画の目標と道路整備水準

1 道路整備基本計画の構成	19
2 みちづくりの基本視点	20
3 道路整備基本計画の目標	21
4 道路の段階構成の設定と整備水準	22

第5章 道路網の構築と幅員設定

1 道路網の構築	31
2 道路幅員の設定	32
3 朝霞市の目指すべき道路ネットワーク	33

第6章 優先整備路線の検討

1 優先整備路線の考え方と評価	50
2 優先的に整備すべき市道路線	67
3 実施に向けた留意事項等	69

第7章 個別課題への対応

資料編	77
-----	----